



東海市
Tokai City



ともにつながり 笑顔と希望あふれるまち とうかい

令和7年（2025年）10月3日

東海市記者会見資料

嚙鳴フォーラム in 東海2025を開催します

ふるさとの先人を、まちづくり、人づくり、心そだてに活かそうとする全国各地の自治体が集まり、先人の知恵や経験から普遍的な人間の英知を再発見し、よりよき地域への道を学び、実践していくことを目的として「嚙鳴フォーラム in 東海2025」を開催します。

■日時

令和7年（2025年）11月15日（土） 午前9時30分～午後0時45分

■場所

東海市創造の杜交流館 南館1階 多目的ギャラリー（横須賀町）

■定員

100名

■内容

- 記念講演

秋月達郎氏（作家）「ふるさとの育て方」

- 市町長サミット

「これからの中核市づくり わがまちの行き方・考え方」

■申込方法

申込フォームから、オンラインで事前申込

URL : <https://logoform.jp/form/JAqd/1194060>



■主催等

主催 東海市、東海市教育委員会

主管 噙鳴フォーラム in 東海実行委員会

■その他

開会行事のアトラクションとして、東海市万歳保存会による御殿万歳の披露があります。

問合せ	教育委員会社会教育課 担当：桑田（くめた） 052-613-7834、0562-38-6427
-----	---

【歴史から未来へ】ふるさとの先人を、まちづくり、人づくり、心そだてに活かす

嚙鳴フォーラム in 東海 2025 歴史から未来へ— これからの地域づくりを考える

東海市の呼びかけで嚙鳴フォーラムが始まって18年。全国11の加盟自治体の市町長、教育長が、「東海市創造の杜交流館」に集い、これまでの歩みを総括しつつ、これからの時代の、まちづくり、人づくり、心そだてのあり方を探ります。

●日時

2025年11月15日(土) 9:30~12:45 (受付 9:00~)

●会場 「東海市創造の杜交流館」 南館1階 多目的ギャラリー

愛知県東海市横須賀町狐塚 11番地

●参加申込 無料、要事前申込

事前申込先・お問合せ先 噙鳴協議会事務局 〒476-8601 愛知県東海市中央町1-1
東海市教育委員会 社会教育課内 TEL:052-613-7834 FAX:052-604-9290



釜石市／岩手県
大島高任

1826～1901
●鉱山学者・事業家

●記念講演「ふるさとの育て方」秋月達郎氏●作家

●市町長
サミット 「これからの地域づくり
わがまちの行き方・考え方」

●出演 噙鳴協議会加盟自治体市町長

●スライドで「嚙鳴と恕 作家・童門冬二氏が語りかけたこと」
振り返る

●歓迎
アトラクション 「御殿万歳」(東海市指定無形民俗文化財)
●出演 東海市万歳保存会

養父市／兵庫県
池田草庵

1813～1878
●儒学者・教育家



大野町／岐阜県
所郁太郎

1838～1865
●幕末の志士



東海市／愛知県
細井平洲

1728～1801
●儒学者・教育家



木曾町／長野県
山村蘇門

1742～1823
●学者・木曾代官



米沢市／山形県
上杉鷹山

1751～1822
●米沢藩九代藩主



小田原市／神奈川県
二宮尊徳

1787～1856
●農政家・思想家

恵那市／岐阜県
佐藤一斎

1772～1859
●儒学者・教育家



多久市／佐賀県
多久茂文

1669～1711
●多久四代領主



高鍋町／宮崎県
石井十次

1865～1914
●児童福祉の父



沖縄市／沖縄県
島マス

1900～1988
●沖縄の社会福祉の母

地図 ●嚙鳴協議会加盟自治体と
ふるさとの先人 (令和7(2025)年度現在)

ふるさとの先人を、まちづくり、人づくり、心そだてに活かす 嚙鳴フォーラム in 東海 2025 開催にあたって

東海市長・花田勝重

東海市の呼びかけにより、平成19(2007)年に、ふるさとの先人を地域づくりに活かす全国の自治体が東京に集い始まつた嚙鳴フォーラムは、本年で、第18回を迎えました。この間、嚙鳴フォーラムの提唱者の一人、作家・童門冬二氏の助言の下、加盟自治体が持ち回りで開催する嚙鳴フォーラムを中心にさまざまな活動を展開することによって、交流と情報交換を行ない、各自治体ならではの地域づくりに取り組んできました。

今、私たちは、地球規模での「大変な時代」「大きな変革期」を迎えていました。

第5回(平成23<2011>年度)、第9回(平成27<2015>年度)に続いて、本市で3度目になる本年の嚙鳴フォーラムでは、「嚙鳴(教え合い、学び合う)」と「恕(共に生きる生き方)」を合言葉に、これまでの活動を通して培ってきた各自治体の考え方や取り組みを持ち寄ることにより、これから時代に向けて、普遍的な地域づくりの原点をともに考え、探ります。ふるってご参加ください。

[名称の由来]

「嚙鳴」とは中国最古の詩集「詩経」に出てくる言葉で、鳥が仲間を求めて鳴き交わすという意味。転じて、仲間が集まり切磋琢磨しながら、ともに学び成長しあう姿を表します。名君・上杉鷹山の師として名高い愛知県東海市出身の儒学者・細井平洲が江戸に開いた塾を「嚙鳴館」と名づけたことでも有名です。

講 師



●記念講演
Akizuki Tatsuro
秋月達郎氏 ●作家

昭和34(1959)年、愛知県半田市生まれ。早稲田大学卒業後、東映に入社し映画『スケバン刑事』『はいかさんが通る』などのプロデューサーを務め、作家に。幻想や歴史を題材にした作品を数多く発表。TBSでドラマ化された民俗学者・竹之内春彦の『殺人物語シリーズ』、日本人と疫病の共生を描いた『疫神の国』、9本の名刀を主題にした9つの物語集『刀剣幻想曲』、日本とトルコの100年の友情物語『海の翼 エルトゥールル号の奇蹟』など著書多数。



●コメンテーター
Yoshida Kouhei
吉田公平氏 ●東洋大学名誉教授・
嚙鳴協議会顧問

昭和17(1942)年、宮城県岩沼市生まれ。東北大学文学部卒業。九州大学助手、東北大学助教授、広島大学教授を経て東洋大学教授。平成25(2013)年より、東洋大学名誉教授。中国哲学・日本近世思想史専攻。「陽明学」を中心に西洋思想と比較、今日的な意義を探求。著書に、『陸象山と王陽明』『日本における陽明学』『伝習録』『論語』『中江藤樹心学派全集』『陽明学からのメッセージ』など。

.....歓迎アトラクション.....

●御殿万歳 東海市指定無形民俗文化財 ●出演…東海市万歳保存会
「陰陽。鶴は千年、亀は万年…」のことばから始まる、太夫と6人の才蔵で行なう万歳。家を建てる際、柱に神様を迎え、完成すると家に七福神が舞い込むという目出度い様子を演じるもので、正月はこの万歳の鼓の音で家の門を開き、初春を迎えた大名家も多かったといわれている。



.....会場 アクセス.....

●東海市創造の杜交流館

東海市横須賀町狐塚11番地

TEL: 0562-32-5700

○電車…名鉄常滑線

「尾張横須賀駅」より徒歩3分

(名鉄名古屋駅、中部国際空港駅より約30分)

○車…知多半島道路

「大府東海IC」より4km(11分)

西知多産業道路「横須賀IC」より1.8km(9分)



.....嚙鳴協議会.....

恵那市、大野町、沖縄市、小田原市、釜石市、木曽町、高鍋町、多久市、東海市、養父市、米沢市が加盟し、作家の故童門冬二氏を名誉会長として(株) PHP 研究所文化事業部が企画運営協力をする協議会で、統括事務局は東海市社会教育課に置かれています。

